

日本漢文学研究

第3号

《目次》

論文

范曄『後漢書』の伝来と『日本書紀』 文武天皇の漢詩	池田 昌広	1
—その歴史的背景と文学史的意義をめぐって—	土佐 秀里	27
徳川前期における明代古文辞派の受容と荻生徂徠の「古文辞学」		
—李・王関係著作の将来と荻生徂徠の詩文論の展開—	藍 弘岳	47
日本における『大明釈教彙目義門』の流伝と出版	會谷 佳光	83
『拙古堂日纂』の研究		
—近世中期上方における明清書学書の受容—	稲田 篤信	107
宣長手沢本『春秋経伝集解』		
—堀景山改訓の意義について—	高橋 俊和	119
和刻漢籍鼈頭本について		
—その特質と沿革—	高山 節也	143
漢字字形情報管理システムの構築と提案		
—日本漢文学研究への応用—	上地 宏一	177
研究ノート		
日本漢学文献の分類について	町 泉寿郎 清水 信子	201
資料紹介		
當福寺所蔵・三宅真軒撰『文字禅室必備書目』について	川邊 雄大	225
並木栗水『義利合一論辨解』解題並びに翻刻	岡野 康幸	245
執筆者紹介		261
編集委員・編集後記		262
投稿要領・原稿作成要領		263
(英文要旨)		267
『日本靈異記』の漢文をめぐって		
—原典を目指しての研究提起—	李 銘敬	312 (75)
心越禅師と徳川光圀の思想変遷試論		
—朱舜水思想との比較において—	徐 興慶	356 (31)
Prefaces as Sino-Japanese Interfaces: The Past, Present, and Future of the Mana Preface to the Kokinwakashû	ヴィーブケ・デーネーケ	386 (1)